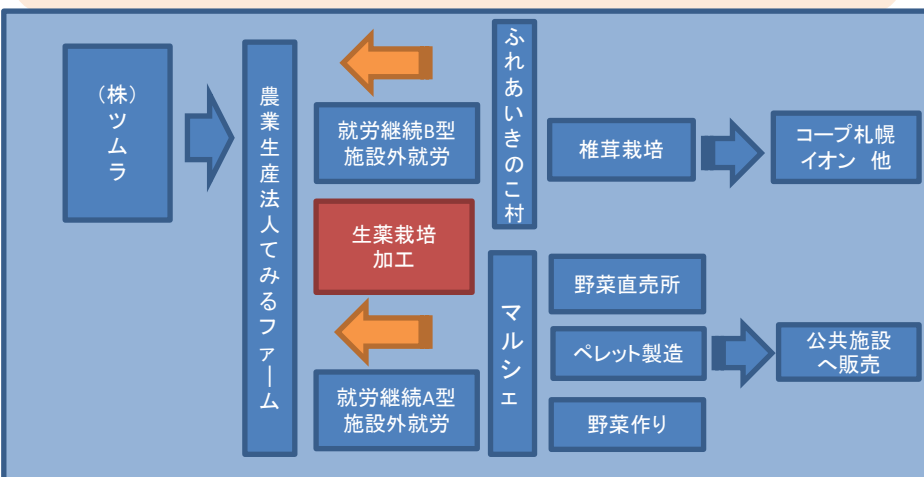


【福祉と農業（生薬栽培）】

Point



- 企業との委託生産事業
- 施設外就労の活用
- 生薬栽培を通しての企業就労



事業実施のきっかけ、経緯

- ふれあいこの村での椎茸事業は入所施設から地域での生活を目的に日中活動の場として開設された。利用者の特性を生かし、ハウス栽培、畑での作業と部門を作り株式会社ツムラさんと障害者雇用を目的として、てみるファームで生薬の栽培を委託する。畑作業は発達障がい、高機能自閉症、引きこもりの方が就労継続A型事業として展開している
- 就労継続A型事業所は地域での連携を含み、ふれあいきのこ村の生椎茸、近隣の生産者からの野菜を直売所で販売する。近隣生産者と連携をとり、畑のアドバイスを受ける

事業概要

- 就労継続B型事業からの施設外就労
- てみるファームからの生薬栽培委託事業（就労継続A型事業）
- 就労継続A型事業から、てみるファームへの雇用
- ふれあいきのこ村、てみるファーム、近隣農家の農作物の販売を就労継続A型事業所とれたってマルシェに販売委託

成果

- 発達障がい、引きこもりの方の作業として、生薬の栽培をおこなう。自分のペースでできることから継続性は高い
- 生薬の栽培は、無農薬と大変な作業だが、薬の原料としての製品は障がい者にとって社会に役立っていると認識している。
- 機械操作など免許を保持している方は、農業生産法人に就労を試みている。
近隣の生産者と連携を結び、直売所、畑でのアドバイスを受け、地域で親しまれる施設になることで、地域での会議等をA型事業所とれたってマルシェを活用するようになった。

今後の展望

- 現在、生薬の栽培を中心におこなっているが、今後雇用に繋げたい
- 有機野菜の栽培と近隣生産者と連携を取り野菜の直売を積極的におこない、利用者との係りを理解してもらう



事業所より一言

ふれあいきのこ村は入所施設から地域での生活することから、日中活動の場として、多機能型の施設です。利用者の特性に合わせて椎茸栽培、畑作業を通しての収入で地域での生活を送っています。

就労継続A型事業 とれたってマルシェは高機能自閉症、発達障がい、引きこもりの方を中心に作業をおこなう。一度社会でつまづいた方など受入、本人のペースに合わせた作業を進める

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 はるにれの里
ふれあいきのこ村 多機能型事業所
とれたってマルシェ 就労継続A型事業所

〒061-3331
石狩市厚田区聚富488-1

TEL 0133-60-3466 FAX 0133-60-3477

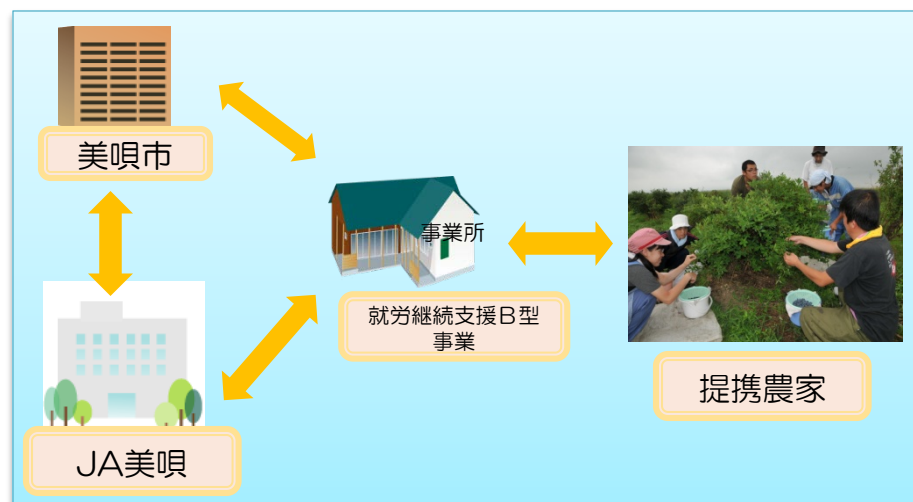
カテゴリ【1】農業との連携

柔軟性のある労働資本の提供
美唄市とJA美唄の協力により実現

Point



就労継続支援B型事業を活用
福祉のまちとして法人事業所が地域定着
知的しょうがいの理解とこれからの活用



事業実施のきっかけ、経緯

北海道の特産品である「ハスカップ（ベリー種）」の需要拡大に伴い、成熟期における短期収穫の必要性があり、JA美唄が美唄市と協議したところ、爽やかネットワーク就労継続支援B型事業に打診がある。

事業概要

- JA美唄組合員でハスカップ栽培農家と専属契約。収穫、選別、輸送、納品を行う
- 収穫量に応じた完全歩合制でハスカップ組合の規約に準じた対応

成果

- ハスカップ収穫量で収益が増加するので、対応した利用者へ説明理解を明確にすることができ、利用者の自信と収穫向上につながった。
- 「こんなことできないだろうか？」との問いに対応できる人材をアピールできた。地域社会での知的しょうがいの理解が深まった。
- 就労継続支援B型事業とJA美唄での契約となり、初めてのケースとしてマスコミに大きく取り上げられた。

今後の展望

- 柔軟性のある人材として行政機関や団体へ周知することが出来たので異業種での人材としても活用を期待。
- ハスカップのみならず、地元農業で活用できる人材の提供をして就労、自立を図る。



事業所より一言

就労継続支援B型事業におきまして「弁当製造、精米、各授産作業」施設外就労で「リサイクルハンガー生産」をおこなっています。

社会福祉法人 北海道光生会
爽やかネットワーク



〒072-0811

北海道美唄市東7条南2丁目1-1

TEL 0126-64-4380

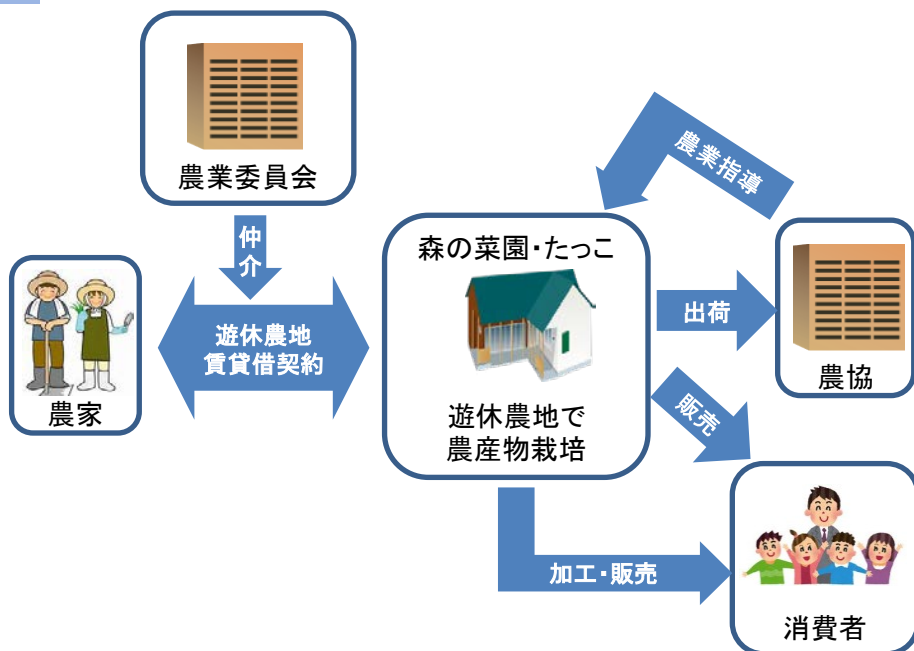
Fax 0126-64-4542

E-mail : sawanet@tempo.ocn.ne.jp

カテゴリー1】農業との連携

Point

- 農業委員会と連携
- 遊休農地の有効活用
- 農協の農業指導を受け栽培



事業実施のきっかけ、経緯

施設の生産活動として農業を検討し、地元の農業委員会に相談。遊休農地を所有する農家を紹介頂いたことがきっかけ。

事業概要

- 農業委員会の仲介で遊休農地を所有する農家と農地の賃貸借契約を締結。
- 農協の指導を受け農産物(にんにく・大豆)を栽培。
- 収穫した農作物は、農協に出荷。一部は加工・商品化して販売。

成果

- 遊休農地を活用することで、農家の遊休農地を管理する負担を軽減し、農地の荒廃を減らすことに寄与出来た。
- 栽培・加工のノウハウを得ることで、企業や農家からの受託作業が増加。

今後の展望

- 栽培面積を50アールから70アールに拡大し、収穫量の増量を図る。
- 地元の農協に協力頂き、より質の高い農産物の生産を目指す。



にんにくの植え付け作業



収穫したにんにく

加工・商品化



黒ニンニク



企業から受託した黒にんにくの皮むき作業

事業所より一言

● 今後も田子町の皆様のご協力を頂き、品質の良いにんにくを栽培したいと思っています。

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 清慈会
森の菜園・たっこ

〒039-0201
青森県三戸郡田子町大字田子字塚ノ上ミ70-8
TEL.0179-23-0355 FAX0179-23-0336

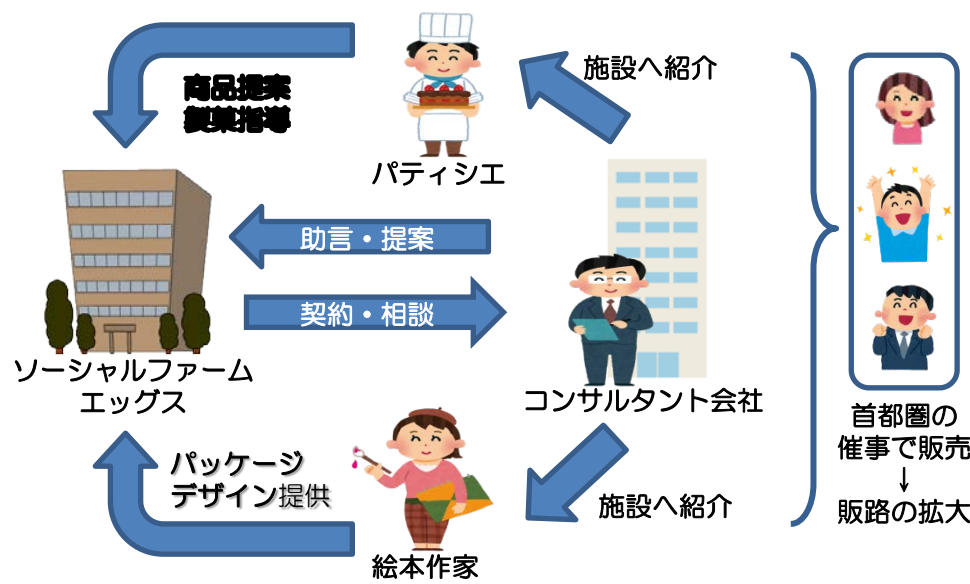


カテゴリ【4】企業との連携

【コンサルタント企業と福祉の連携
売れるお菓子で工賃向上を！】

Point

- 福祉施設によるコンサルタントの活用
- プロ助言の消費者に求められる商品を福祉で生産・販売
- 企業との連携による販路の拡大



事業実施のきっかけ、経緯

- もともと菓子製造を行っていたが、思うように売り上げが伸びずに悩んでいた。販路の確保やおいしい・売れる商品作りをと考えても施設職員だけでは限界があり、なかなか行動に移すことができないでいた。その状況の中で、プロの視点から助言や提案を受ける必要を感じ、コンサルタント会社との連携を試みることとなった。

事業概要

- コンサルタント会社と相談しながら助言を受けたいパティシエと絵本作家を決め、紹介を受ける
- パティシエから新しい商品の提案、レシピの提供、製菓指導を受ける
- 絵本作家にパッケージをデザインしてもらう
- コンサルタント会社の催事で首都圏にて商品販売

成果

- パティシエから直接製菓指導を受けることにより製菓の技術や知識が向上した
- 商品が売れることにより利用者のモチベーションも向上した
- コンサルタント会社を通じて知り合ったパティシエや絵本作家以外にも人脈が広がり、そういった方々から障がい者の就労に関して理解を得ることができた

今後の展望

- 売れる商品を生産することにより、利用者の工賃向上を目指す



事業所より一言

働くことを通してご本人の自立のお手伝いをしていきたいと考えています。右の商品もどうぞよろしくお願いいたします！



本事例の事業所紹介



社会福祉法人 俊公会
ソーシャルファーム エッグス

〒039-1165
青森県八戸市石堂2丁目24-6

TEL 0178-32-0906
FAX 0178-32-0907

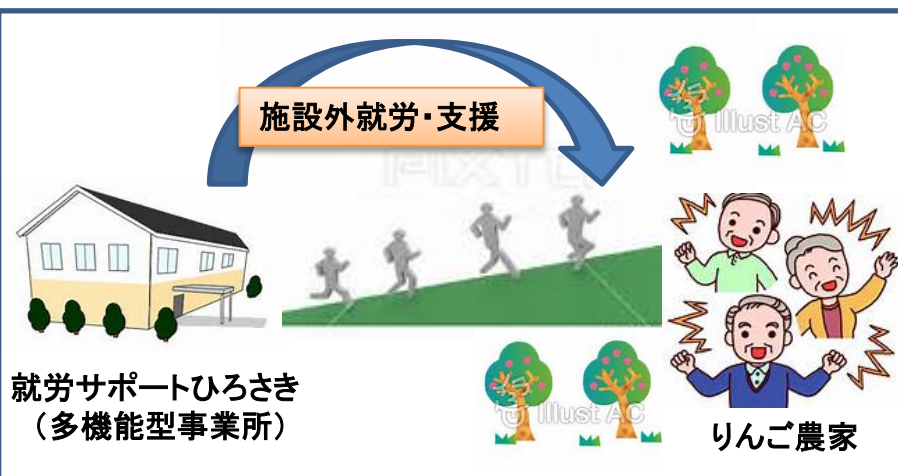
カテゴリ【1】農家との連携

【地元農家との農福連携】

Point



- りんご農家の人手不足解消
- 利用者の工賃アップ + 意欲・体力の向上
- 施設外就労、施設外支援の活用



事業実施のきっかけ、経緯

- 当法人は昭和53年、知的障害者の通勤寮の開所以来、障害者の「働く」を支援して来た。
- 地域住民との交流の中で、当初から日中活動の場として、りんご畑での作業をさせてもらっていた。
- 近年、農家の高齢化により、りんご畑の維持継続が難しくなる畑もあり、人手不足を補うマンパワーとして、障害者の方に来てほしいとの要請が農家からあった。

事業概要

- 毎年9月～11月、りんごの収穫時期に実施。
(収穫後の冬や春先にも要請あれば短期間実施)
- B型事業所で利用者を各りんご畑に送迎。
- 作業については、農家から直接指導してもらう。
- 各農家と取り決めた日額を工賃としていただく。

成果

- 一番大変な収穫作業期を手伝うことで、農家の耕作維持につながった。
- 農家の高齢化や後継者不足は深刻である中、多少なりとも、人手不足解消や地元産業に貢献できた。
- 農業スキルを勉強できる。
- 利用者の工賃アップにつながった。
- 利用者にとって施設外就労・支援への参加が目標となり、日々の訓練に対する意欲が向上した。
- 何よりも、農家から連絡を心待ちにして、畑で作業している利用者の姿が生き生きとしていた。
- そのことから、社会とのつながりを持つ事の大切さを、支援者が学んだ。

今後の展望

- 現在は、収穫期の運搬作業を中心に行っている。
- 利用者の農業スキルの習熟を図ってできる作業を拡大し、通年で作業できる人材を育てて行きたい。



収穫したりんごの運搬



津軽富士 岩木山

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 七峰会 就労サポートひろさき
(多機能型事業所)



〒036-1321
青森県弘前市大字熊嶋字
亀田184-1

TEL 0172-82-4524
FAX 0172-82-5730

【高齢者からも喜ばれる弁当配達】

Point

- 市内なら1つから配達
- 産直との関わりから地産地消に取り組んでいる
- 野菜をふんだんに使ったバランスの良い弁当



注文 → 製造 → 配達



or
FAX



電話かファックスで

衛生面に気を付けて

お昼までにお届け

事業実施のきっかけ、経緯

- 障害者自立支援法の施行に伴い、新体系に移行し、給食提供をしていたが、給食を食べる利用者が減少してきたことで、厨房設備や栄養士という人材を有効に活用できる授産施設として平成18年度より弁当事業を始めることになった。
- 受注の増加に対応する為、平成22年改修工事を行っている。開始時は1日80食を目標にしていたが、現在は300食を上回る事が多くなっている。

事業概要

- お弁当の製造販売、宅配を行っています。お客様の職場、ご家庭、工事現場など市内なら1つから配達しています。
- 焼きおにぎりは道の駅「シートピアなあと」でも販売しています。
- オードブルなどの特注対応も行っています。お客様の予算に応じてお作りしています。

成果

- 配達には職員と利用者で行っており、障がいに対する理解も得られてきている。
- 社協からの紹介で、独居生活をされている高齢者宅への配達もあり利用者と高齢者の交流や、時には安否確認も兼ねている時がある。
- 復興事業に携わっている工事関係からの需要が多くなっている。

今後の展望

- お客様のニーズに応じた商品の開発や販売に努めていく。



1つ1つ心を込めて！



海苔おにぎりとおかずのセット



味噌と醤油の焼きおにぎりセット



野菜をふんだんに使った日替わり弁当

事業所より一言

これからも地産地消、安全安心の手作り弁当を心がけ、お子様からお年寄りの方まで喜んでいただけるよう職員・利用者努めていきます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 わかたけ会 SELPわかたけ

〒027-0063

岩手県宮古市山口5-5-10

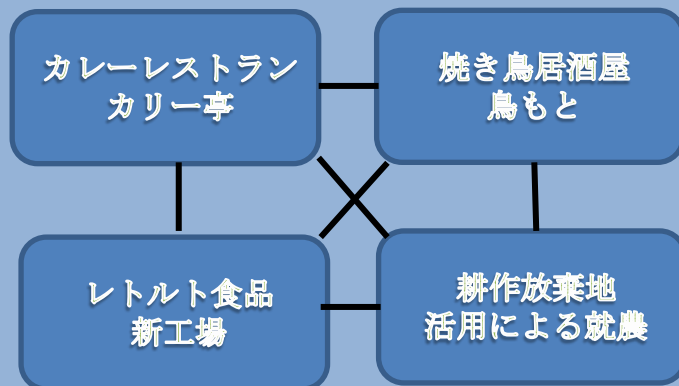
(事業所写真)

TEL 0193-64-5555 FAX 0193-63-3785

【 美味しく楽しい就労 】

Point

- 食材の宝庫岩手県宮古市。地域の食材を生かした、飲食店営業とレトルト食品製造。
- 有限会社時代に培った高い商品性と営業力を生かす。
- 商品の原材料調達に耕作放棄地30アール借地で農業参入。新たな就労システム構築中。



事業実施のきっかけ、経緯

- 平成2年、有限会社社長として当時15歳3名の知的障がい者に出会う。彼等のひた向きな仕事への取り組みに感銘を受け平成7年2月、彼等3名の雇用を目的にカレーレストランカーリー亭を開業。以来障がい者の就労目的にレトルト食品開発発売、焼き鳥居酒屋鳥もとでの雇用等、障がい者を積極的に雇用、平成23年3月11日には10名の従業員中7名が障害を持つ従業員を雇用するに至る。二事業所被災したが復興。震災を契機に経営者の高齢化と将来を見据え平成24年4月特定非営利活動法人イーハトーブとりもとを設立し就労継続支援A型事業所の指定を受ける。

事業概要

- 居酒屋鳥もと、カレーレストランカーリー亭営業
- カーリー亭及び鳥もとブランドレトルト食品製造
- 30アールの畑営農による、レトルトカレー原材料玉ねぎとニンニク生産

成果

- 有限会社以来の顧客、ブランド力により、震災後雨後の竹の子のように乱立した飲食店の競争を生き抜く事が出来、障害者のメンバーもプライド高く就労している。
- レトルト食品の製造者表示が有限会社からNPOに変更したが、販売者は有限会社としている為取引先の取引口座を失う事無く取引を継続、またそれまでの問屋による営業販売も継続し着実に業績が伸びている。
- 以上のように震災に被災したにも拘らず、売り上げ利益共に堅調に推移し、平均給与10万円を26年度には見込める。

今後の展望

- 日本フィランソロピー協会を通じ、キリンビール様のキリン絆プロジェクト助成金で三障害対応のレトルト食品製造工場を新築中。整った食品製造環境の中で地域の食材を生かした新製品を開発製造販売し、より多くの障害者に就労の場を提供したい。
- 農業と6次産業の担い手として障がい者を育てる。



焼き鳥職人S君奮闘中



焼き鳥居酒屋鳥もとメンバー



レトルトカレー製造中



25年6月玉ねぎ収穫風景

事業所より一言

しっかり働き、ガッチリ遊ぼう！

美味しい物を作ったり、お客様に召し上がり頂く為に一生懸命働きます。辛いこともあります。でも、仕事が終われば楽しい事が沢山待っています。しっかり働いて給料をもらい、そのお金で楽しい暮らしを築きましょう。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人イーハトーブとりもと

〒027-0096

岩手県宮古市崎鍬ヶ崎第18地割17番19

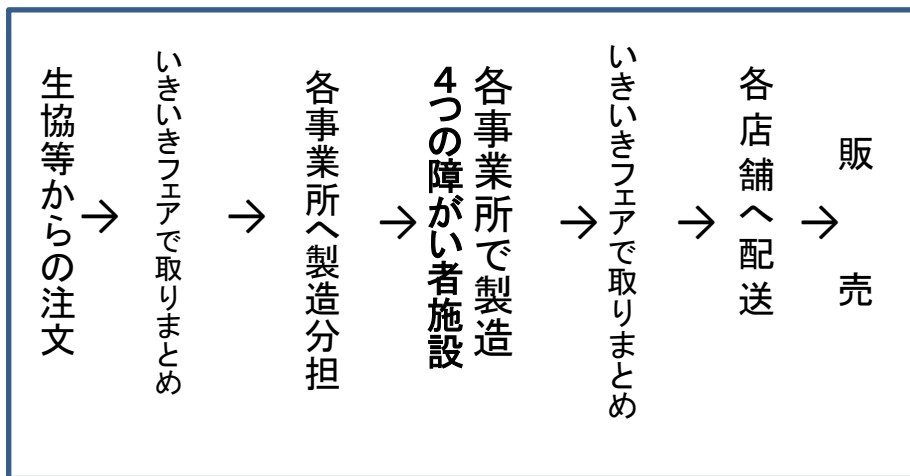
(事業所写真)

TEL 0193-63-6776 FAX 0193-64-5484

復興を願う「希望の天使」

Point

- いきいきフェア（宮古圏域の福祉施設・事業所等16団体で構成）が中心となっている。
- 企業と市内の4つの障がい者施設との共同開発商品
- 地元の素材にこだわっている



事業実施のきっかけ、経緯

●平成24年度、地域の復興を願い、東日本大震災で被災した企業と、いわて生協、かけあしの会等の販売支援者及び宮古圏域の4つの障がい者就労支援事業所が連携して「希望の天使」ブランドを立ち上げた。

●シフォンケーキ、ココナッツプリン、マドレーヌのスイーツ3商品の他、25年10月には新商品「セサミソルトクッキー」を発表し販売を始めた。

事業概要

- 「いきいきフェア」が受注窓口となり、材料の共同購入から、障がい者施設への製造の割り振りを行っている。
- 商品は岩手県内外の生協や各施設の店舗で販売されている。
- 売り上げは、各施設に戻され利用者の工賃に充てている。

成果

- 被災地復興支援として他県からの受注が多く、売り上げの向上につながっている。
- 共同商品開発をしていく中で他事業所との連携も深まった。

今後の展望

- 利用者の工賃向上につながるよう、製造・販売に努めていきます。



小野寺恵先生からご指導をいただきました。



みんなで、丁寧に作ります



赤部酒造のリキュールを使用した商品



昨年10月に発表・発売になった地元の川井産のゴマと宮古の塩を使用したクッキー

事業所より一言

今後も他事業所と連携しながら、利用者の工賃向上につながるよう製造・販売に努めていきます。

本事例の事業所紹介



(事業所写真)

社会福祉法人 わかたけ会 SELPわかたけ

〒027-0063

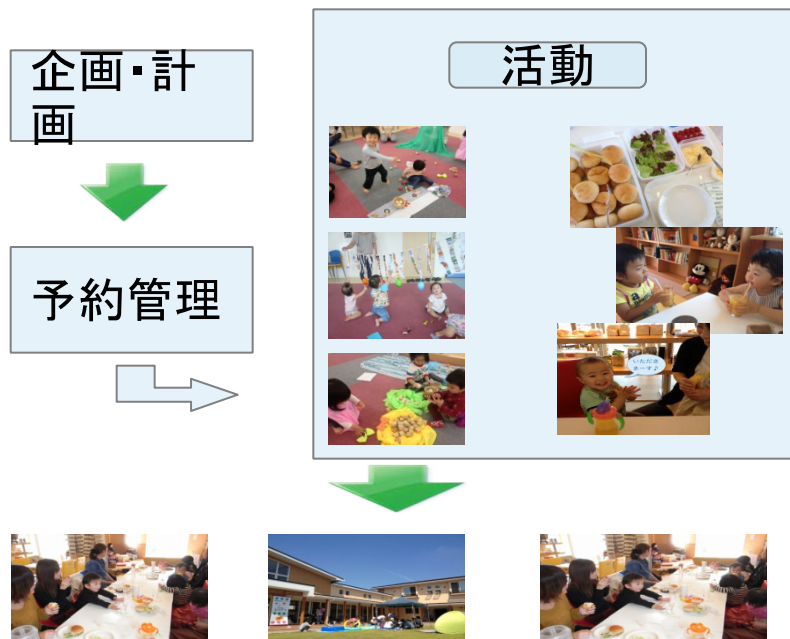
岩手県宮古市山口5-5-10

TEL 0193-64-5555 FAX 0193-63-3785

【子育てグループやサークルへの施設の開放】

Point

- 地域で活動する子育て支援活動への施設の提供
- サークル活動に場の提供
- 直営カフェレストラン活用での業績アップ



事業実施のきっかけ、経緯

- 事業所建設計画の段階から子育て子育て支援にかかわりを想定し、カフェに親子で楽しめるコーナーを設置。
- 地域で親子教室などの活動ができる場所を探している方が建設中にきて相談を持ちかけられた。
- カフェコーナーと集会室を使った活動プログラムを開始する

事業概要

- 企画案内を実施者が行い、施設予約管理は事業所が担当。
- 活動参加費に施設利用時のサービス(スイーツセット)を含ませ提供。
- ベビーサインやベビーダンスなどの親子活動を複数のグループが活動実施。

成果

- 活動プログラム以外でも子育て家族の拠り所としての広がり、展開を見せている。
- 他の活動グループへの波及により利用が始まっている。
- 常態的な触れ合いにより障害のある方への認識の変化。
- カフェサービスと連動させたことにより、売上に貢献。また親子家族で楽しめる場所としての認知の広がりからレストラン利用が向上。

今後の展望

- 隣接老人活動センターとの間で世代間交流へと発展させること。
- 子育てプログラムへの事業所生産活動(手芸作品等)の連携展開。



前庭水遊び



親子読み聞かせ



ベビードンス



事業所より一言

親子でゆったりと安心した時を過ごせる心地よい場の提供に心がけています。働きづらさを抱えた方の心のこもったサービスをお楽しみください。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 カナンの園
となんかなん

〒020-0836
岩手県盛岡市津志田西二丁目16-91

TEL 019-681-3004 FAX019-637-2601

カテゴリ【6】震災復興



【アートが奏でる、不思議な旋律♪

そしてNOZOMI PAPER Lab. 衝撃デビュー！

Point

- 東日本大震災による津波で、仲間2名と事業所、公用車等、全てを失ったが、全国、全世界から駆け付け、私たちに寄り添い、支えとなってくれた人たちの存在や多くの人たちの協力、つながりがあり、製品が生まれたことは希望の燈火でもある。



事業実施のきっかけ、経緯

- 震災から約1年後、世田谷ライオンズクラブ様から、紙漉き機械一式を提供され、「紙好き交流センター麦の会」の奥上代表指導の下、紙漉き作業が始まる。ステンシルの絵柄を施してみると、とてもよい風合いに出来上がった。

事業概要

地元や県内外の皆様と連携し、飲み終わった紙パックを回収。それを原料に、素敵なお笑ハガキや名刺、メッセージカードへ大変身！

- 町内外8カ所に、回収BOXを設置し、お酒パックや牛乳パック等を定期的に回収。紙製品の原料とする。

- 用途に応じた、紙製品を製作。(A4サイズ・ハガキ・名刺・変形ハガキ等)

成果

- 「NOZOMI PAPER Lab.」が発進し、気持ちを形にした「メッセージカード」が生まれ、エイブルアート様の企画「Good job! 東北プロジェクト」の開催と共に、渋谷・ヒカリエや仙台・メディアテーク、福岡・イムズへ、当事業所から生まれた製品達も、全国行脚する事ができた。

- お客様からは、「可愛いね」「不思議だね」と高い評価を頂き自信をもちました。

今後の展望

- モアタオルの売上も大きいですが、紙製品の売上向上を目指し、販路の拡大、新商品開発に力を入れて行く。

- 製品の質を高める為にも、地域の酒販組合や小売店とも連携して、お酒パックがより集まりやすい、システム構築を目指す。

- 福祉の力だけでは決して成し遂げる事が出来なかった、アートの力を信じて、これからも未来へ向かって、突き進んで行きたい。



事業所より一言

エイブルアート・カンパニー様のお言葉をお借りすれば、人と人との繋がって、「ほぼ、人の想い100%でできた紙」。デジタルツールが出回っている今だからこそ、あえて、アナログ的なこの紙で、あなたの想いを大切なあの人へ伝えてみませんか？

ここから始まり、それぞれ皆様のヒューマンストーリーの一役となれたら、それこそが我々の本望であります。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 洗心会
のぞみ福祉作業所

〒986-0725
宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56-3

TEL0226(46)5129 FAX0226(29)6858

